稲高

進路だより

9月号
（第46号）

令和５年９月21日発行
発 行 元　稲取高等学校　進路課
〒413-0411　東伊豆町稲取3012-2

2学期のスタートにあたって

最近思うことがあるのですが…みなさん**「挨拶」を大切にしていますか？**もちろん顔を合わせると元気よく挨拶をしてくれる生徒もいることは確かですが…その反面、**職員室へ黙って入ってきたり、廊下ですれ違っても素通りしてしまう生徒が増えてきた**ように私自身は感じているからです。

挨拶をすることで、自分と相手との関係を変えることができたり、挨拶を受けることで相手の気持ちを感じとることもできます。また、**心のこもった挨拶が伝わることで、良好な人間関係を築くことができます。**

一方、社会では挨拶ができることによって常識のある人という評価を得られますし、逆に**挨拶が出来ない人は、常識のない人とみなされて社会的な評価は低くなります。**挨拶は強制されるものではないですが、しないことに対しての弊害が大きいことは確かです。

みなさん、この先学校生活を送るうえで挨拶の大切さを再認識するとともに**「いつでもどこでも気持ちの良い挨拶」**を心がけるようにしてください！！

3年生就職ガイダンス

下田法人会面接練習

3年生就職試験激励会

9月・10月の予定

９/２２（金）　後期一斉委員会
９/２６（火）　新体力テスト大会（４～６限）
１０/　１（日）　看護医療模試（２年生希望者）
１０/　２（月）　朝礼・任命式（１限カット）
１０/　３（火）～９日（月）　生活時間帯調査（全学年）
１０/　４（水）　生徒総会（６限）
１０/　７（土）　公務員模試（２年生希望者）
１０/　７（土）～　８日（日）　３年記述模試（希望者）
１０/　８（日）　日本語ワープロ検定（希望者）
１０/１０（火）～１２日（木）　中間テスト（１年生は１０日・１１日）
１０/１２（木）　１年生保育実習
１０/１７（火）　体育祭予行（５・６限）
１０/２０（金）　稲高祭（体育の部）

まだ多くの３年生が試験を控えています。勉強はもちろん、体調管理も忘れないよう万全の態勢で試験に臨むことができるように準備をしておきましょう！

就職試験に向けての準備（面接編）

1・2年生必読！！

７月号では３年生進路実現にむけての特集を組みましたが、今月号では就職試験ついて準備をしておかなければならないことを紹介していきたいと思います。まず、必ず実施されるのが面接です。**面接は調査書や履歴書では計れない本人の人間性や人柄を見るために実施されます。**では、その面接試験に臨むまでに普段から心がけておかなければならないことは何なのでしょうか？

其の壱　言葉遣い・身だしなみへの気配り

面接において特に重要になるのは「第一印象」です。言葉遣いや服装・頭髪などの身だしなみなどその場だけ取り繕うと思っても面接官に見抜かれてしまいます。日頃の生活の中で、常に正しい言葉遣い（裏面の特集をチェック！）と清潔な身だしなみを心がけることが大切です。

其の弐　部活動・学校行事への積極的な参加

高校生活の中で「自分はこれを頑張った」というものが面接では必要となります。特に就職の面接では部活動や学校行事を通して何を学んだのかを重視する傾向があります。

其の参　一般常識・社会情勢の知識の吸収

就職するということは「社会人」になるという自覚が求められます。その自覚を持つようにするとともに社会の動きには常に気を配り、自分なりの意見を持つように心がけていきましょう。

其の四　健康管理の徹底

多すぎる欠席・遅刻・早退は採用試験の合否判定に大きく影響を与えます。３年間の欠席を 10 日以内にするよう普段から健康に気を配ることが大切です。

其の五　進路に関する情報の収集

自分の進もうと考えている分野の仕事についての情報には常に気を配りましょう。そうして集めた情報の差が面接での受け答えの差となって表れます。

其の六　自己のあり方・生き方の研究

自分をしっかりとＰＲできるように自分のことを知っておきましょう。自分は何がしたいのか、何が得意なのかなど質問されたときにすぐ答えられるようになります。

また、面接では**挨拶や礼儀がしっかり身についていること、相手の話をしっかりと聞く姿勢や、話が理解できたかが相手に伝わるように意思表示をするなどのコミュニケーション能力が身についていることも大切なアピールポイント**になります。

以上のことは普段の学校生活の中で養われるものばかりです。挨拶や言葉遣いなども含め、自分の生活をもう一度見つめ直し、社会人となるのにふさわしいマナーと規範意識も身につけていくようにしてください。

そうすれば面接試験で何を聞かれても困ることはありません！！

就職試験に向けての準備（言葉遣い）

面接試験では皆さんの「意欲」を伝えることが最重要事項ですが、その**意欲を伝えるために正しい敬語で話ができているかどうかも合否の大切なポイント**になります。敬語が苦手という人もいるかもしれませんが日頃から丁寧な言葉遣いを心がけ、社会人として最低限の敬語をマスターするようにしましょう。

其の壱

まず自分のことは

「私は（わたしは、わたくしは）…」で話し始めます。これだけでもかなり印象が良くなります。

其の弐

受験する会社のことは

正しくは「御社（おんしゃ）は…」と言いますが、高校生の場合は普通に「こちらの会社は…」という表現でも構わないようです。

其の参

基本的に話し方は

丁寧語で話します。すべて「です」「ます」調で統一して話すように心がけましょう。

其の四

尊敬語と謙譲語

尊敬語は「動詞＋れる（られる）」「お（ご）…になる」が基本形です。

其の五

固有の尊敬語、謙譲語を用いる動詞

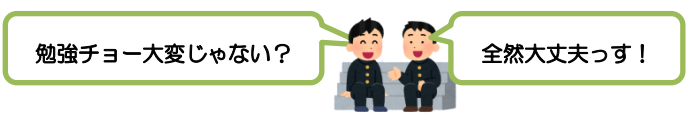
次の動詞は固有の尊敬語を用います。覚えておくとよいでしょう。

	尊敬語	謙譲語		尊敬語	謙譲語
言う	おっしゃる	申す・申し上げる	来る	いらっしゃる	参る
行く	いらっしゃる	参る	する	なさる	いたす
いる	いらっしゃる	おる	食べる	めしあがる	いただく
聞く	お聞きになる	うかがう	見る	ご覧になる	拝見する

また、**面接試験の話し方で注意したいのが、学生言葉や略語**です。みなさんは友達との会話の中で、何気なくこれらの言葉を使っていませんか？就職試験の場で学生言葉や略語を使っていると、面接官に「この生徒は子供っぽい」とか「学校と会社の区別がついていない」といった印象を与えてしまうことも考えられます。

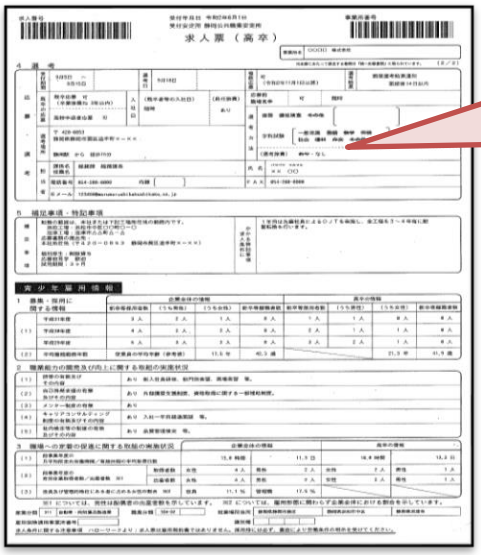
面接官：「部活動の活動状況について教えてください。」
生徒Ａ：「はい。私はバレー部で良いスパイクを打つために毎日筋トレに励みました。」
生徒Ｂ：「はい。私はバレーボール部に所属しており、良いスパイクを打つために毎日筋力トレーニングに励みました。」

２人の生徒のうちどちらに子供っぽい印象を受けますか？面接試験の際には、一般的に**生徒Ｂのように略語を使わない言い方のほうが聞き手に良い印象を与えます。**このほかにも、「スマホ」「コンビニ」「バイト」などの略語も面接試験では使わないようにしましょう！！



就職試験に向けての準備（筆記試験編）

志望企業では面接以外にも様々な試験が実施されることがあります。実際にどのような試験が実施されるのか求人票の「４．選考」の欄をチェックするようにしましょう！！



「４．選考」は求人票の裏面に記載されています。
面接のみの企業もあれば適性検査や一般常識・作文まで実施する企業もありますので必ず確認しましょう！！

過去に受験実績のある企業については進路資料室に就職試験報告書がありますので試験内容について具体的に知ることができます！！

学科試験については一般常識の問題集を購入し勉強を進めるようにしてください！！

出題傾向

国語分野…漢字が中心ですが、同意語や反意語、ことわざや敬語の使い方などが出題されます。
数学分野…簡単な計算問題や文章問題が中心で、中学までに習った範囲のものが多いようです。
英語分野…英単語、発音問題などが中心ですが、英語のことわざが出題されたこともあるようです。
地歴・公民分野…地歴分野では首都・県庁所在地、公民分野では労働三法や国際連合の専門機関の名称が出題されることがあります。
理科分野…理科分野の出題は工業系を除き出題は多くないようです。
時事問題…いわゆる社会情勢など一般常識として知っておくべき時事問題です。

適性検査は、性格検査と、みなさんの職業適性や事務的適性を見るための職業適性検査に大別することができます。ＳＰＩもこの適性試験の一種です。

クレペリン検査

鉄道関係の就職試験で実施されることが多いです。クレペリン検査とは受検者の情緒性や仕事にかかるときの態度、仕事の乗り、周りの環境への変化に対する適応力など、性格や行動ぶりや知能など判断する検査です！！

ＳＰＩ

高校生の入社試験で課されるＳＰＩは、ＳＰＩ３－Ｈ型です。ＳＰＩは独特の試験形式に特徴があり、初めて受験した際には難しく感じる人もいます。**ＳＰＩなどの適性検査が含まれている問題集を購入して事前に慣れておくことが望ましいです！！**

上記の対策を就職試験直前に取り組むのではなく、普段から「読み書き」・「計算」などの基礎学力を定着させ、きちんとした学習習慣を確立させておくことが大切です。会社では、新しく覚えなければならないことがたくさんあります。高校時代に学習習慣を確立させておくことが必ず役に立ちます。**生活面・学習面ともに、高い意識を持って学校生活を送ることが、目標を達成するための１番の近道になる**のです！！